

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学校プール改修事業	会計	一般会計	事業No.	676	施策順No.	22-009
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-3-3-11-9		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	学校教育課		
施策	22 義務教育の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内小中学校のプール						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		プール施設がある小中学校数		28	28	28	28	
		小中学校プール数(濾過機数)		36	36	36	36	
	意図	安全で快適なプール環境を整備						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	実施済小中学校数(全自動濾過装置設置校数)	9.5	11	13	15	15	17	A
	実施済小中学校プール数(全自動濾過装置設置プール数)	13	15	17	19	19	21	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		老朽化した濾過機を計画的に改修しており、22年度の目標を計画どおり達成できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 児童、生徒が安全で快適な教育環境下で水泳の授業が行えるよう老朽化プール施設の計画的な改修をする ＜参考＞細々目：学校プール改修事業費		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 老朽化プールの改修 (1)プール循環濾過装置取替 ①飯田西中学校 ②高陵中学校(2機中1機)	実施校	2校
23年度実施計画	1 老朽化プールの改修 (1)プール循環濾過装置取替 ①旭ヶ丘中学校 ②高陵中学校(2機中1機)	予定校	2校

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		14,000	13,493	16,000		
計(A)		14,000	13,493	16,000		
正規職員所要時間			80			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			286			
トータルコスト A+B			13,779			

4 事業に対する市民や議会の意見

学校からは操作の簡単な全自動濾過機の設置要望あり。 給排水の漏水、プール本体の塗装など修理修繕要望が多数あり。(管理費で随時対応している。) 濾過機の故障により水泳の授業に支障をきたした学校の保護者から早期修理の要望があった。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	良好な教育環境の中で児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつけることができる。 →児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつける。	施策の成果指標又はムトス指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合(%) 上段 小学校、下段 中学校 文部科学省基準を満たした学校の数(ムトス指標)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・生徒児童がより良い環境下で授業を受けられる様、老朽化した濾過機を計画的に改修し、小学校6校6台及び中学校2校2台の改修を終えることができた。		
	後期に向けた課題	・順次中学校の濾過機も改修するが、全小中学校の改修には相当数の年月を必要とする。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・手動の濾過機から操作の容易な全自動濾過機へと変更するなど、機能面での改善も行い、学校職員が生徒児童への教育に集中できる環境づくりを行ってきた。		
	後期に向けた課題	・改修と老朽化がいたちごっことなる為、機能面で充実しており且つ耐久性のある濾過機への改修を考えていかなければならない。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・改修時期をプール使用前の清掃時期に合わせる、または水を張ったままで改修工事を行える施工方法の実施など、水道料の節約を考えて実施した。		
	後期に向けた課題	・プール環境の改善について、塗装が必要等の要望が多いが、濾過機の性能を落とさずにプール施設全般の改善を考えなければならぬ。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・受益者は小中学校の生徒児童であり、市立小中学校の教育環境を整備する市の関与は適切であった。		
	後期に向けた課題	・受益者に負担を求めることは適さないため、現行の関与の下、より効率的な事業の実施を考えていかなければならない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	・特になし。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・濾過機の改修に留まらず、プール周りの改修及び漏水等の修繕を行い、プール環境の包括的な改善を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・性能とコストのバランスを考え、最良の形で濾過機改修を行う。加えて特に必要と考えられるプールの塗装についても、計画的に実施していく必要がある。また、その他の改修についても随時取り組む必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------